緑豊かな美しい街並みづくりを目指して

~ 第5回「豊島・美しい街並みづくり大賞」授賞式 ~

本日、第5回「豊島・美しい街並みづくり大賞」の授賞式が行なわれた。

この事業は、美しく品格があり、人々に潤いを与え、環境に配慮したみどり豊かな街並みをつくることをまちづくりの目標としている豊島区が、多くの人々に街並みについて考えるきっかけにと平成 19 年度から開催。今回で 5 回目を迎える。

本大賞は美しい街並みの維持・創出に貢献する団体または個人などを対象とした「美しい街並みづくり賞」と、今ある街並みを写真におさめ、魅力を再発見する「美しい街並みフォト賞」の二賞を設け、公募により実施している。今回は平成 23 年 5 月から 8 月まで作品を募集した。「美しい街並みづくり賞」部門では、応募件数 12 件のうち、40 年ぶりに整備された池袋西口広場に地域の人の発案で設置された、モザイカルチャーを維持管理する団体ほか 5 件が表彰された。また、「美しい街並みフォト賞」部門では、応募件数 106 作品(47名)のうち、江戸時代の面影を残す雑司が谷の風景の一部を切り取った作品を含む 14 作品(12名)が表彰された。

受賞作品は A4 サイズでフルカラーの冊子「受賞件名・作品集」にまとめられ、区役所都市計画課窓口のほか、区内図書館や区民ひろばなどで無料配布される。

日 時 平成 24 年 1 月 24 日 (火曜日) 午後 2 時 30 分から

場 所 区役所本庁舎 第一委員会室 (東池袋 1-18-1)

主 催 豊島区

当日の様子

会場には、豊島区のさまざまな街並みを写した受賞作が飾られていた。

参加者の声など

古昭サナ曲自己自己「ADDタノのナルブ内質」をおいたが、ナロの作光

高野之夫豊島区長は、「今回多くの方にご応募いただいたが、本区の街並みを見つめなおす機会となり、まちの良さ、素晴らしさが伝わってくるものばかりだった。中でも今回受賞された皆さんの作品は、特に素晴らしかった。本当におめでとう。」と受賞者へメッセージを送った。

受賞者は、「普段からよく歩いている道を撮影した。今回初めての受賞。とてもうれしい。」「作品の タイトルをつけるのに苦労した。」「これからも写真を楽しみたい。」などと喜びを語った。

受賞作品

■『美しい街並みづくり賞』

祥雲寺を含む洞雲寺、路地など周辺(宗教法人 祥雲寺、宗教法人 洞雲寺)/大正大学巣鴨キャンパス(学校法人 大正大学)/南長崎はらっぱ公園(南長崎はらっぱ公園を育てる会)/JR池袋西口駅前広場花壇と ふくろう親子(NPO法人ゼファー池袋まちづくり)/JR 大塚駅南北自由通路(大塚駅周辺を考える会)

■『美しい街並みフォト賞』

「球場の春」「石橋碑と御嶽坂」(宇佐美俊弘) / 「お会式」(大森貴子) / 「172 号線・池袋駅へ開通」(竹元利泰) / 「黄金色に染まる境内」(竹元弘子) / 「長崎神社の能」(石川心一) / 「ときめきの八合目(池袋富士お山開き)」(宮澤利夫) / 「眺望の街」(神林昌子) / 「西池袋の街中」(高橋宣夫) / 「調和」「彩」(松原秀成) / 「東京大塚阿波踊りにどうぞ」(川口順弘) / 「赤鳥庵のある庭~白壁としだれ桜の庭園~」(葛西真弓) / 「SKY BLUE 2」(藤田佳代)

(敬称略)

写 真

*写真はメ

ールで送り

ます

真 美しい街並みづくり賞受賞者と 区長集合写真



美しい街並みフォト賞受賞者と 区長集合写真



美しい街並みづくり賞「JR 池袋西口駅前広場 花壇とふくろう親子」



美しい街並みフォト賞 「石橋碑と御嶽坂」



問合せ

都市計画課